

勝龍寺城

—石垣・瓦・天主の出現—

元龜2年(1571年)、細川藤孝は織田信長の命によって勝龍寺城の築城を行います。その構造は戦国時代の土から成る城ではなく、石垣を築き、建物には瓦を葺き、本丸には天主が聳えるという画期的なものでした。信長の安土築城の5年も前のことです。こうした勝龍寺城の構造を発掘調査の成果や、城郭研究から解き明かしたいと思います。

●講師 滋賀県立大学教授 **中井 均氏**

●日時 令和2年3月1日(日)
13時30分～15時45分(開場13時)

●会場 長岡京市立中央公民館 市民ホール

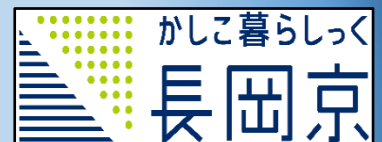
申込不要 先着200名 資料代500円(当日受付)



<勝龍寺城公園(長岡京市)>

■主催 NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会

■共催 長岡京市教育委員会 ■後援 長岡京市観光協会



お問合せ

NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会 中山 ☎ 050-1082-2636

長岡京市教育委員会生涯学習課

☎ 075-954-3557